

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	思春期保健連絡会の設置						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		786	千円	3,300	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切にする健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	思春期の子どもとの課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、モデル教室を実施し、その結果を検証するとともに、平成22年度に作成した「健康指導イラスト教材集」の改訂を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	連絡会の開催		6回	適切な開催	6回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	思春期保健連絡会を開催し、関係者の連携を強化します。思春期保健の課題を共有し、効果的に健康教育を推進するのに重要なので指標にあげました。 (最終目標と最終年度)						
	健康教室の開催		0回	適切な実施	22回	順調 やや遅れ 遅れ	順調
小・中学校における健康教室の才実施による知識の普及啓発、課題の共有 (最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	思春期の子どもとの課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、モデル教室を実施し、その結果を検証するとともに、平成22年度に作成した「保健指導イラスト教材集」の改訂を行います。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	様々な関係団体との連携強化を図ることで、教材を作成することができました。それを利用した健康教室をすることで効率的な実施ができています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>モデル教室の検証結果を踏まえ、小中学校における思春期健康教室の実施を拡大・充実していくことで、効果的な思春期の心とからだの健康教育を推進します。</p> <p>併せて、保護者に対する啓発や支援体制の検討を行い、思春期の問題を減少できるように取り組みます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	思春期健康づくり事業						掲載ページ		
							68		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,220	千円	1,755	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	思春期の子どもとその保護者を対象にして、生命の尊さを学ぶことを通じて、健全な子どもの心と体の発達を促すことを目指します。学校教育や地域との連携を図り、子育て体験学習、性教育などの機会を通じて、健康、性、心の問題などについて幅広い知識の普及を図ります。					
活動計画	思春期の子どもたちが健やかに成長できるよう、今後も学校や地域関係者と連携しながら、健康教育を実施していきます。						活動実績 活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	教室実施回数	27 回	適切な実施	21 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域における思春期保健における課題を共有し、健康教育を実施します。 （最終目標と最終年度）						
					順調	順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	学校と連携し、思春期の子どもとその親に対して、健康や性に関する知識の提供を行いました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	思春期の問題が顕在化していることから、自分自身の心と体を大切にする健康教育を実施することは重要です。健康や性に関して知識の提供を効果的に行うためには、医師や助産師等の専門職の実施が重要です。思春期の問題が顕在化していることから、関係機関が連携し取り組むことが必要です。小学校区を担当する保健師が関係機関と連携し、実施していることから、市の関与が必要でず。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
思春期の子どもたちが健やかに成長できるよう、今後も学校や地域関係者と連携しながら、健康教育を実施していきます。